



## 目 次

[平成15年度「21世紀COEプログラム」に採択される  
理学部でオープンユニバーシティと体験入学を実施](#)  
[I O D P 第1回科学計画委員会が理学研究科にて開催](#)  
[日本植物学会第67回大会が開催される](#)

[外国の研究機関との共同研究](#)  
[海外からの来訪者](#)  
[学会賞等の受賞](#)

[学位授与](#)  
[新任教官紹介](#)  
[訃報](#)  
[人事異動](#)

[各種委員会委員](#)  
[行事予定](#)

## 平成15年度「21世紀COEプログラム」に採択される

文部科学省の「21世紀COEプログラム」の審査結果が公表され、全国の国公私立大学から申請のあった611件のうち、本学から13件のプロジェクトを申請し、6件が採択された。そのうち本研究科からは、数学・物理学・地球科学分野で「特異性から見た非線形構造の数学（拠点リーダー小澤 徹教授）」と学際・複合・新領域分野で「新・自然史科学創成 - 自然界における多様性の起源と進化（拠点リーダー岡田尚武教授）」の2件が採択されました。

## 理学部でオープンユニバーシティと体験入学を実施

### オープンユニバーシティ

高校生や保護者，一般市民の方々に北大を知っていただくための「大学一斉開放」が，8月4日（月）に全学一斉に行われました。

理学部においても，当日午前と午後の2サイクルが実施され，5号館低層棟2階の大講堂に，遠くは宮崎県など道内外約100校から287人（うち道外71人，同伴父母等の未記帳者を加えると300人以上）が参加しました。

学部長の歓迎挨拶に続いて，各学科長・学科委員等から，各学科・分野の教育内容等について，それぞれユニークな紹介がされ，高校生たちの真剣な表情が印象的でした。

また，本年初の試みとして，特別講演会『バイオとナノの融合を目指して』- 21世紀COEプログラム - が実施され，拠点リーダーの長田副学長（前理学研究科長）がパワーポイントを駆使してユーモアたっぷりに講演しました。午後の学科等紹介が終了後30分も経過してからの開演だったため参加者は激減してしまいましたが，関心は強く，予定時間を大きく超える午後5時半頃まで熱心な質疑応答が続けられました。



歓迎の挨拶を述べる岡田理学部長

### 高校生体験入学

オープンユニバーシティ翌日の8月5日（火）（数学科と生物科学科の一部は6日までの2日間）理学部体験入学が行われました。

高校生に自然科学への関心を呼び起こすとともに，理学部で行われている教育・研究の実際を理解してもらうため，「高校生一日入学」として始められたこの催しは，今年で12回目となります。

平成8年度から文部省（現文部科学省）の委託研究事業として続けられてきた「高校生のための数学講座」をはじめ，5学科7分野のすべてが平成15年度の体験入学にとり組み，理学部全体として計21コースが実施されました。

今年の体験入学には，遠く愛媛県など道外25校を含む77校から合計184人（うち道外25人）もの高校生たちが参加しました。

参加した生徒からは，「大学と高校の違いが分かった。」，「高校とは全然違う環境の中で勉強することがこんなに楽しいものとは思わなかった。」，「私も入学して実験したい。」，「大学受験に向けて意欲が湧いてきた。」，「理学部は他の工・医・薬学等の元になる部分だけをやっているのかと思っていたけど，実際はそれだけでなく，まだ良く分かっていない新分野等の発見もしていて，イメージよりも幅広いものだった。今後は学部を選ぶときに候補にしたい。」，「何より，現役大学（院）生の人たちの話がとてもためになった。複数の学部で体験入学ができれば，学部選択に迷っている人にとってはうれしいのですが。」，「緑豊かなキャンパスを実際に見て北大に通いたいと思った。」，「道のわきに繁っている緑や沢山の木がある図書館や安くておいしい食堂，どれをとっても勉強するには最高の場所だと思う。この北大のすばらしいキャンパスで楽しい4年間を過ごしたい。」などの感想文がたくさん寄せられました。以下に，生徒たちの感想文のうちから各コースに関する部分を抜粋して紹介します

## 《感想文の抜粋》

### 数学科「① やさしい数学の話」

- ・ プレゼントクイズはとても良い。賞品が本人のサイン入り本ってというのがまた良い。
- ・ クイズでもらった本は一生の宝物にします。
- ・ 学校で物理を受けていないので途中から良く分からなかったが、ライン川の映像やムービーなどで分かりやすかった。
- ・ 「やさしい数学の話」というより「チョット難しい物理の話」という感じだった。
- ・ 格子の講義で、実際に模型を見たり立体視などができたのが良かった。未解決の難問が紹介されて魅力的だった。
- ・ 流石北大は数学と他の分野との関連（数理科学系）が充実している。物理的なことが多かったので少々驚いたが「数学科は数学だけをやれば良いのではなく、もっと広い視野を持って学習すべき」というのが良く分かった。
- ・ OHPは見にくかったなので、パワーポイントなどを使う方が良い。
- ・ 数学はどんな勉強をしようとも、どんな学部学科に行こうとも関係を持てると思う。この経験をきっかけに、自分が目指すものへの意志もだいぶ大きくなり、さらに頑張っていくと思うようになった。
- ・ 教師を目指している数学科の学生に「どうして北教大でなく北大を選んだのか？」と質問したが参考になる答えが得られず、進路に迷いが出る結果となった。自分の学科の素敵なところをもっと工夫して伝えて欲しい。

### 物理学科（②～⑦）

- ・ レーザーに関する説明を受けたとき、途方に暮れるような感覚と同時に、何かとてつもなく巨大な物を見上げたときに感じるような高揚感に襲われた。きつもっと深く深く学んで行けば、今まで経験したこともないような世界への扉が開けるのかと思うとわくわくする。
- ・ 超電動の実験で磁石が空中に静止するという不思議な光景を目にすることができた。ゲームセンターにあるエアホッケーみたいに磁石が移動するという、日常では目にすることのない貴重な体験ができ良い一日だった。
- ・ 液体ヘリウムがビーカーを伝ったり、超電動の実験で磁石が浮くのを生で見られて嬉しかった。教授の話は難しかったが、実験を通じて何を言いたいのかは理解できた。
- ・ 走査トンネル顕微鏡が、どんな仕組みで何故原子一個一個の配列が分かるのかが分かったような気がする。とても奥が深かった。いろいろ聞きたいことや知りたいこと、興味が湧くことがあったので、時間を増やして欲しい。
- ・ 生体とマイクロ波で午後の説明がとても興味深かった。ガラスが液体だとは思わなかった。「最初の生命」がどのように生まれたのか知りたい。
- ・ 超伝導現象が起こる温度を常温位まで上げる研究に興味を湧いた。課題研究でやってみたい。
- ・ K（ケルビン）とかわからないところがあったけど、自分で実験できて知識が広がった感じ。
- ・ グラフを使った説明は、細かすぎて2つのグラフの違いを目で見ることができなかった。
- ・ 電波と物理の言葉を理解するのが高1にとっては少しくつかった。大学院生の実験時の説明はとても分かりやすく、図を描いたり、ゆっくり話してくれたので大部分は理解できたと思う。
- ・ 講義のカオスので動くものを見たかった。

## 化学科 ( ⑧ ~ ⑩ )

- ・ 立体分子モデルを作れるパソコンソフト ( 多分 ) が使えたのは貴重な体験だった。
- ・ 結晶の実験であのような析出の仕方をするとは思っていなかったので感動した。この実験によって私の化学への関心はますます深まるでしょう。
- ・ 難しくついていけないところもあったけど、最後の、結晶がビビリと析出したところはすばらしい。
- ・ 教授の講義がとても楽しかった。今まではただ漠然と化学系に進みたいという気持ちで勉強していたけど目標ができた。意欲も湧いた。
- ・ 吸収スペクトルを測定するときに、少し濃くなり過ぎて振り切れてしまった。また、いろいろな失敗もしたが、初めての経験なのでそれも楽しかった。先輩も優しかったので作業もやりやすかった。もっと難しい実験もやってみたい。

## 生物科学科 ( 生物学 : ⑪ ~ ⑰ )

- ・ 電子顕微鏡やDNAの配列を自動的に完成させる機械等、普段高校では使ったり見たりすることのできない物ばかりで、とてもすばらしい体験になった。
- ・ 植物園での淡水棲動物採集は他のコースではできない貴重な体験だった。
- ・ 動物は、今現在でまだ数パーセントしか発見されていないと教わって驚いた。
- ・ タイトルの「人はなぜ再生しないか」という疑問の答えを自分なりに出そうと実験を繰り返す姿勢がすばらしいと思った。自分の苦手な蛙が登場して少し参った。プラナリアよりミジンコの方が魅力的だったように思える。(「どっちも可愛かった」との感想もあった。) これだけの生き物を犠牲にして人間の生物学を発達させているのだと思うと、蛙、ミミズをはじめとする生き物に感謝したくなる。
- ・ 野生の「シロイナズナ(ママ)」と人工的にGusの遺伝子を組み込んだ「シロイナズナ(ママ)」を各温度に分け、発色の違いを見る実験、また、制限酵素によって切断したDNAの電気泳動を見るという実験を体験した。実際に体験できるとは思ってもいなかったことだったので、すごく感激した。
- ・ 植物の外来性遺伝子の検出は、とても専門的な実験と聞いていたので、最初はできるかどうか不安だったが、細かいところから一つ一つ丁寧に指導していただいて、とても分かりやすく、理解して進めることができたと思う。高校ではできない、大学ならではの実験で、いろいろな発見と驚きが沢山あった。この北大でもっといろいろな驚きと出会いたい。
- ・ ラットの脳は何か思っていたよりも堅かった。脳を取り出すときにバキバキと頭蓋骨を割ったり、脳がツルツルだったり、スライスしたときの薄さなど、驚いたことが沢山あった。
- ・ ラットの脳は豆腐よりやわらかく、プニプニしていた。しかも約1cm位の大きさの脳によってあれだけのラットが動いているとは思えなかった。
- ・ 今回の実験やラットの命を無駄にしないよう自分の進路に向けて頑張りたい。
- ・ 普段使うことのない電子顕微鏡やピペットマンは操作自体楽しかったし、インジェクションなど良い体験になった。時間的に無理があるかも知れないが、試料を作るところからやって見たかった。(解剖もやって見たかった。) 日程はもっと長くなっても退屈しないと思う。
- ・ 盛りだくさん過ぎて時間が足りなかったように思う。実験後に意見交換(討論)できる時間がもう少しあっても良いかなと思った。電子顕微鏡で見た渦鞭毛藻はとてもかわいかったし、美しかった。かわいいので、写真を部屋に飾っています。
- ・ 今回実習を行い、是非大学で「生物学」をやってみたくなった。生物 までを履修していない高1・高2の生徒には配付されたテキスト(資料)の内容が少し難しかったことだろう。
- ・ 写真を撮らせてくれたり、わがままをたくさん聞いていただいてありがとうございました。来年もまた来たい。

## 生物科学科（高分子機能学：⑱～㉑）

- ・タンパク質もいろいろな種類があるのを知った。DNAは全部分かったみたいだけど、タンパク質に変化する方法はまだ知られていないらしいということを知ってさらに興味を持った。MSとNMRという機械はすごい。MSは故障していたらしくて残念だった。
- ・理学部の奥深さを知り、より目指そうと思った。
- ・最先端の技術がここにあるのが本当に驚いた。次世代ポストゲノム棟への行き帰りは疲れた。
- ・アスピリンなどの薬やナイロンの繊維など身近にあるものを自分で作れて楽しかった。これまでは化学科しか考えていなかったが、選択の幅が広がった。

## 地球科学科（地球惑星物質科学）

- ・マントルを構成していると言われるカンラン石を含んだ鉱物が地表に出ている場所があると聞き、地球の不思議さを感じた。電子顕微鏡実習は実際に操作して見たかった。X線を用いた未知物質の同定装置は面白かった。
- ・博物館の内部を見て回るのとは一番の授業ではないかと思われた。
- ・地球科学というと地学の知識がたくさん必要と考えてしまうが、物理や化学などの分野にも密につながっていることが分かった。

## 地球科学科（地球物理学）

- ・講義はすべてパソコンのグラフィックスで行われ、色鮮やかなオーロラや地球内部の熱の変化などをmovieで見せてもらい、感動した。高校で習う波の性質を実験によって証明するために、大きな水槽と波発生装置でプラスチックの小球を使い、水の粒子の円運動が分かった。世界中の情報が集まって、地球の大陸移動や局地でのオーロラの映像、地震波の伝わり方など、地球全体を見られることに驚きを感じた。
- ・鎌倉時代の日本でのオーロラの記録など、文系の分野にも関係あるなんて面白い。
- ・「地球を測る」の講義は、ペースが速いような気がする。あまり理解できなかった。
- ・もっと自分たち自身ができる実験をして見たかった。身近なことを自分で調べたり考えたりしたかった。
- ・最初はレベルが高すぎてついて行けるか心配だったが、先生方の説明の仕方やユーモラスな表現がとても分かりやすく、時間の流れがとても速く感じられた。



学科の説明に真剣に聞き入る高校生たち



## IODP 第1回科学計画委員会が理学研究科にて開催される

これまで米国主導で進められてきた「国際深海掘削計画」(Ocean Drilling Program:ODP)にかわり、2003年10月1日より日・米が共同して主導する「統合国際深海掘削」(Integrated Ocean Drilling Program:IODP)が開始されます。IODPの科学計画について議論する第1回科学計画委員会(Science Planning Committee)と関連する各種委員会が地球惑星科学専攻の鈴木徳行教授のホストにより理学研究科会議室を主会場に9月13日から19日まで7日間にわたって開催されました。米国、欧州を中心に80名以上の委員会委員、文部科学省や合衆国科学財団の関係者、関係機関のオブザーバーが会議に出席し白熱した討議が行われました。

エンレイソウのレストラン「エルム」にて開催された地球惑星科学専攻主催のレセプションには、ご多忙の中、中村総長が出席され、歓迎のご挨拶がありました。

IODPの科学計画を統括する国際事務局(IODP Management International Inc.:IMI)の日本オフィス(IMI-J)は本学北キャンパスに設置され、岡田尚武理学研究科長がIMIの初代議長を務めます。北海道大学はIODPの国際的な中核研究機関となっています。平成15年度に採択された21世紀COE「新・自然史科学創成」ではIODPへの貢献が重要な課題の一つになっており、IODPを通じた国際交流が本学を舞台に盛んに行われる予定です。



(理学研究科会議室での会議の様子)

## 日本植物学会第67回大会が開催される

去る9月26日から28日にかけて、(社)日本植物学会第67回大会が札幌で開催されました。従来は、北海道大学高等教育センターでおこなうことが多かったのですが、今回は本年営業を開始した札幌コンベンションセンターで、理学研究科と地球環境科学研究科の会員を中心に準備委員会を構成して開催しました。参加者は若手研究者を中心に800人弱で、本州での開催と同程度の参加者が集まりました。

日本植物学会は植物に関するあらゆる分野の研究者が集まる総合的な学会で、それを反映して、さまざまな分野に関するシンポジウム8テーマの他、一般講演437題(ポスター発表・口演発表)の発表がありました。ポスター発表の際には、近隣の高等学校の生物研究部の研究発表もおこなわれ、第一線の研究者と高校生達との間で熱のこもった意見交換がおこなわれました。最終日には、市民公開シンポジウム「北の暮らしと植物科学 植物たちの過去・現在・未来」を開催し、約150人の市民の参加を得ました。このシンポジウムでは、北海道の絶滅危惧植物の現状と保護、食品の品質向上を目指した植物科学研究の現状、バイオテクノロジーを利用した植物資源の利用などが紹介され、将来の食糧問題や環境問題に対する植物科学の意義がさまざまな角度から示されました。

## 外国の研究機関との共同研究

理学研究科生物科学専攻（高分子機能学）助教授 門 出 健 次

（ 1 ） 共同研究名

Synthesis, structure and biological activity of indole phytoalexins and their analoges  
(インドール系ファイトアレキシン及び誘導体の合成・構造・生理活性)

研究を行った研究機関・研究者職・氏名

Assoc. Plof. Dr. Peter Kutschy  
Department of Organic Chemistry Faculty of Natural Sciences.  
P.J.Safarik Univ.Slovak Republic,

（ 2 ） 共同研究名

Structure - Based Approach for Discovery of Small Molecule Bcl-2 Inhibitors  
(構造情報に基づいた抗腫瘍性Bcl-2阻害低分子の開発)

研究を行った研究機関・研究者職・氏名

York Tomita  
Assistant Prof.  
Georgetown Univ.Medical Center,Washington DC.USA.



## ◆ 海外からの来訪者

期間：平成15年7月1日～9月30日

受入れ専攻等名>> [数学専攻](#) | [物理専攻](#) | [化学専攻](#) | [生物科学専攻](#) | [地球惑星科学専攻](#)

(受入れ専攻等名：数学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.7.27～8.1	大韓民国・Korean Institute for Advanced Study・ 教授・Jun Muk Hwang	研究打合せ
15.8.3～9.28	中華人民共和国・東北師範大学・教授・Pei Donghe	「特異点論からみた様々な幾何学の研究」 に関する研究打合せ
15.8.10～8.24	台湾・台湾国立大学・準教授・Jenn-Nan Wang	「波動方程式族の逆問題」に関する研究打 ち合わせ
15.8.16～8.22	アメリカ・コロンビア大学・教授・倉西正武	「異方性と拡散による形態変化の数理解析」 に関する研究打合せとシンポジウムでの講 演 「Cartan geometry of CR structure based on jets」
15.9.13～9.30	ポーランド・ワルシャワ大学・助教授・Piotr Mormul	「外微分式系への応用特異点論」に関する研 究打合せ・国際研究集会「特異点論とその応 用」 「Codimension-2 singularities of Goursat flags are in vast majority not simple」
15.9.14～9.26	アメリカ・ノースキャロライナ大学・教授・ James N.Damon	国際研究集会「特異点論とその応用」出席 「Scale-based geometry and singularity theory and its application to computer imaging」
15.9.15～9.22	ロシア・ウラジミール州立大学・教授・ Aleksy Aleksandrovich Davydov	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論 とその応用」「Phase transition in optimization of cyclic processes」
15.9.15～9.30	ドイツ・ハンブルグ大学・教授・Oswald Riemenschneider	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論 とその応用」
15.9.15～9.27	ロシア・モスクワ国立大学・教授・ Sabir Gusein Zade	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論 とその応用」「Filtrations, Poincare series, integrals with respect to the Euler characteristic」
15.9.16～9.21	イタリア・International Centre for Theoretical Physics・ 所長・Le Dông Trảng	講演「2次元孤立特異点について」
15.9.15～9.26	イギリス・リバプール大学・教授・ Charls Terrence C.Wall	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論 とその応用」「Functions on a resolution tree」

15.9.13~9.26	イギリス・リバプール大学・教授・Victor Gorynnov	「動場レンズ現象に現れる特異点の研究」に関する研究打合せ・国際研究集会 「Simple symmetric matrix singularities and the subgroups of Weys groups $A_\mu, D_\mu, E_\mu$ 」
15.9.14~9.28	オランダ・ユトレヒト大学・教授・Dirk Siersma	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」
15.9.8~9.28	スペイン・バレンシア工科大学・助教授・Carles Bivia Ausina	国際研究集会講演「The index of analytic fields and Newton polyhedra」
15.9.8~9.21	スペイン・バレンシア大学・助教授・Maria del Carmen Romero Fuster	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」 「Global invariants of stablemaps from surfaces to the plane」
15.9.12~9.27	イスラエル・テルアビブ大学・上級研究員・Inna Scherbak	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」 「Rational functions with prescribed critical points * related topics」
15.9.12~9.23	カナダ・トロント大学・教授・Pierre Milman	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」
15.9.13~9.29	ポーランド・ワルシャワ工科大学・助教授・Ewa Strozyna	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」
15.9.14~9.25	ブラジル・サンパウロ大学・助教授・Marcelo Jose Saia	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」 「Topological triviality of non-degenerate map germs」
15.9.13~9.26	ブラジル・サンパウロ大学・教授・Maria Aparecid Soares Ruas	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」
15.9.13~9.25	ブラジル・サンパウロ大学・教授・Jorge Manuel Sotomayor	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」 「Bifurcations of Umbilic Points」
15.9.15~9.24	ロシア・Nizhuy Novgorod州立大学・助教授・Grigory Polotovskiy	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」 「On the classification of 7-th degree real decomposable algebraic curves」
15.9.14~9.28	中華人民共和国・Chenzhou師範大学・副教授・高守平	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」
15.9.15~9.26	ロシア・モスクワ独立大学・助教授・Ilya Bogaevsky	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」 「Caustics of singular Lagrangian varieties」
15.9.14~9.28	中華人民共和国・長沙科学技術大学・教授・李兵	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」
15.9.14~9.26	ロシア・ロシア州立石油・ガス大学・助教授・Vyacheslav Sedyk	第12回日本数学会国際研究集会「特異点論とその応用」 「Resolution of corank 1 singularities of a generic front」
15.9.17~9.28	中華人民共和国・東北師範大学・教授・孫偉志	国際研究集会に出席し、日本女子大で「道場レンズ現象に現れる特異点の研究」に関する研究打合せ
15.9.14~9.19	フランス・グルノーブル大学(特異点理論)・教授・Gerard Gonzalez-Sprinberg	「特異多様体上の留数」に関する研究打合せ
15.9.14~9.22	フランス・リュミニニ数学研究所(特異点理論)・主任教授・Jean-Paul Brasselet	「特異多様体上の留数」に関する研究打合せ 講演「Characteristic classes of singular varieties」

(受入れ専攻等名：物理学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.7.1～10.31	アメリカ・イリノイ大学・名誉特別教授・Icko Iber Jr.	日本学術振興会 外国人著名研究者招聘事業による滞在
15.7.20～8.1	オランダ・Institute for theoretical physics, University of Amsterdam・Professor・Jan Smit	研究交流(格子重力理論)
15.7.22～8.22	イタリア・National Research Institute for Nuclear Science Torino ・ Director of research ・ Alessandro D'Adda	共同研究(超対称理論の格子化)

(受入れ専攻等名：化学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.7.1～7.3	韓国・ソウルナショナル大学・教授・Myunghyun Paik SUH	錯体化学の討論および講演会
15.7.22～7.23	インド・インド工科大学マドラス校・教授・Govindarajan Sundararajan	オレフィンメタセシス重合法に関する情報提供
15.9.6～9.9	ドイツ・ミュンヘン工科大学・教授・Frank H.Kohler	有機磁性物質や磁性有機金属化合物NMRによる研究等について議論、および講演会
15.9.17	ドイツ・ドレスデン工科大学・教授・Waldfried Plieth	表敬訪問

(受入れ専攻等名：生物科学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.4.1～9.30	ハンガリー・ブタペスト工科大学・教授・Miklos Zrinyi	「ソフト&ウェット型人工筋肉の創出と生体代替システムへの応用」に関連し、高分子ゲルにおける磁気応答について、論理的にご教示いただく。
15.4.1～9.30	ドイツ・ドレスデン工科大学・Matthias Keller	ソフト&ウェット型人工筋肉として機能する新規ハイドロゲルを創出し、その物性・生体適合性を分子レベルで評価する。さらに、このハイドロゲルの生体代替運動システムへの応用を試みる
15.6.12～8.8	イギリス・イギリス自然史博物館・古生物学部門・部長・Paul D.Taylor	ウスコケムシMicroporellaの系統分類に関する共同研究
15.6.29～7.18	韓国・友右大学・教授・徐 智銀	海産苔虫動物類の分類学的研究
15.7.1～8.21	アメリカ・ワシントン大学・博士課程院生・Jordanna J.Sprayberry	JSPSサマープログラム
15.7.1～8.21	デンマーク・デンバー大学生物科学部 ・ 修士課程院生・Christian G.Westring	JSPSサマープログラム
15.7.7～8.6	ニュージーランド・国立水・大気研究所・主任研究員 ・ Dennis P.Gordon	ニュージーランドおよび日本産マクロポラ科苔虫動物の系統分類学的研究
15.7.17～16.7.16	中華人民共和国・浙江大学・大学院生・張 国忠	COE研究員として研究をするため
15.7.17～16.7.16	中華人民共和国・浙江大学・学生・羅 琼	21世紀COE「バイオとナノを融合する新生命科学拠点」に関わる共同研究
15.7.18～8.24	イギリス・サザンプトン大学・Senior research fellow・Philip L. Newland	ザリガニ運動制御の神経修飾作用に関する共同研究

(受入れ専攻等名：地球惑星科学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.6.30～7.12	中華人民共和国・北京大学地球物理系・教授・ 臧紹先	研究打合せ
15.7.4～7.11	インドネシア・バンドン工科大学・助教授・ Sri Widiyantoro	研究打合せ
15.8.21～11.15	ドイツ・キール大学海洋地質学研究所・教授・ Hans-Ulrich Schmincke	日本学術振興会日独研究者特別招聘事業「火 砕流の噴火ダイナミクスと運搬プロセス」
15.8.21～11.15	ドイツ・キール大学海洋地質学研究所・客員研究員・ 隅田 まり	「火砕流の噴火ダイナミクスと運搬プロセス 」

[<< Back to TOP](#)

[Next Page >>](#)

## ◆ 学会賞等の受賞

北海道大学大学院理学研究科生物科学専攻 高橋孝行教授は、「Expression and localization of prolyl oligopeptidase in mouse testis and its possible involvement in sperm motility. Kimura, A., Matsui,H., and Takahashi,T.Zoological Science 19:93-102(2002)」により、平成15年9月18日、日本動物学会第74回大会において、社団法人日本動物学会から、(1)平成15年度Zoological Science Award(論文賞)と(2)第1回藤井賞を受賞されました。



## ◆ 学位授与

平成15年9月25日学位授与者(6名)

(課程博士)

大 溪 幸 子(数学専攻)

On the absolute Galois group of the totally cyclotomic field and its unramified Galois representations

(主査：三宅 敏恒教授)

松 崎 俊 明(物理学専攻)

Study on the Pseudogap and Superconducting Condensation Energy of  $\text{La}_{2-x}\text{Sr}_x\text{CuO}_4$

(主査：伊土 政幸教授)

(論文博士)

田 中 賢(化学専攻)

Blood compatibility of Poly(2-methoxyethyl acrylate) - Design of a novel bio-interface -

(主査：下村 政嗣教授)

甲 野 裕 之(生物科学専攻)

Solid-State NMR Studies on the Crystal Structures of Cellulose Derivatives

(主査：新田 勝利教授)

森 山 英 樹(生物科学専攻)

Study on Novel Metalloproteinase Inhibitors Based on Sugar-Mimetic Template

(主査：西村 紳一郎教授)

伊 藤 英 之(地球惑星科学専攻)

十勝岳グラウンド火口形成以降の火山活動史の解明と危機管理対応に関する研究

(主査：宇井 忠英教授)

## ◆ 新任教官紹介

なが さか ゆき お  
長 坂 行 雄

(数学専攻数理解析学講座教授)

(平成15年10月1日転任)



最終学歴：昭和46年3月北海道大学大学院理学研究科数学専攻修士課程修了、学位：「理学博士」

略歴：昭和46年4月北海道大学理学部数学科助手、昭和54年7月同学部講師、昭和56年3月北海道大学医療技術短期大学部助教授、平成3年7月同短期大学部教授、専門分野：函数論

むら こし けい  
村 越 敬

(化学専攻物性解析化学講座教授)

(平成15年10月1日昇任)



最終学歴：平成4年6月北海道大学大学院理学研究科化学専攻博士課程修了、学位：「博士(理学)」

略歴：平成4年7月北海道大学理学部教務職員、平成4年9月大阪大学工学部助手、平成10年10月同大学基礎工学研究科助教授、平成15年4月北海道大学理学研究科助教授併任、専門分野：材料化学

いけ だ あきら  
池 田 亮

(生物科学専攻形態機能学講座助教授)

(平成15年10月1日採用)



最終学歴：平成14年3月北海道大学大学院理学研究科博士後期課程修了、学位：「博士（理学）」、  
略歴：平成12年4月日本学術振興会特別研究員(D2)、平成14年4月科学技術振興事業団研究員、  
専門分野：植物生理学、遺伝・育種学、分子生物学

なび か ひで き  
並 河 英 紀

(化学専攻分子変換化学講座助手)

(平成15年10月1日採用)



最終学歴：平成15年9月神戸大学大学院自然科学研究科博士後期課程退学  
専門分野：金属微粒子の光物性

み うら のぶ あき  
三 浦 信 明

(生物科学専攻計算分子生命科学講座寄附講座教員(客員助教授))

(平成15年10月1日採用)



最終学歴：平成10年3月北海道大学大学院理学研究科博士後期課程修了、学位：「博士（理学）」  
略歴：平成10年2月通商産業省工業技術院物質工学工業技術研究所COE特別研究員、平成10年4月同所特別技術補助職員、平成10年7月同所COE特別研究員、平成11年4月科学技術振興事業団計算科学技術研究員、平成13年10月財団法人バイオインダストリー協会契約研究員、平成15年4月北海道大学COE研究員、平成15年7月北海道大学大学院理学研究科産学官連携研究員、  
専門分野：計算化学、量子化学、複合糖質科学、バイオインフォマティクス

ふく はら のり お  
福 原 法 夫

(生物科学専攻生命分子機能学(塩野義)寄附講座教員(客員助教授))

(平成15年10月1日採用)



最終学歴：昭和63年3月東北大学大学院医学研究科博士課程修了、学位：「医学博士」

略歴：平成元年5月塩野義製薬株式会社医科学研究所研究員、平成10年4月同社創薬研究所抗菌部門に異動、平成11年4月同研究所主任研究員、平成15年4月同研究所主管研究員、

専門分野：細菌学、分子生物学

さだもと れいこ  
貞許 礼子

(生物科学専攻生命分子機能学(塩野義)講座寄附講座教員(客員助教授))

(平成15年10月1日採用)



最終学歴：平成10年3月東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、学位：「博士(工学)」

略歴：平成7年10月郵政省通信総合研究所関西支所特別研究員(非常勤)、平成8年4月日本学術振興会特別研究員、平成10年4月米国テキサス大学オースティン校博士研究員、平成11年3月米国スクリプス研究所リサーチアソシエイト(平成10年9月~平成12年3月日本学術振興会海外特別研究員)、平成12年4月財団法人バイオインダストリー協会研究員、

専門分野：糖質工学、高分子化学、化学生命工学

ながほり のりこ  
長堀 紀子

(生物科学専攻計算分子生命科学講座寄附講座教員(助手))

(平成15年10月1日採用)



最終学歴：平成14年12月北海道大学大学院理学研究科 博士後期課程修了、学位：「博士(理学)」

略歴：平成15年1月株式会社生物有機化学研究所博士研究員、平成15年4月財団法人バイオインダストリー協会研究員、専門分野：生物有機化学、複合糖質科学

こしだ しゅうへい  
越田 周平

(生物科学専攻生命分子機能学(塩野義)講座寄附講座教員(助手))

(平成15年10月1日採用)



最終学歴：平成11年12月大阪大学大学院理学研究科博士後期課程修了、学位：「博士（理学）」

略歴：平成12年1月大阪大学大学院理学研究科リサーチ・アソシエイト、平成12年4月塩野義製薬株式会社創薬研究所研究員、平成13年10月同社生産技術研究所製薬研究部研究員、専門分野：糖質科学、有機合成化学、医薬化学、プロセス化学

---

[<< Back to TOP](#)

[Next Page >>](#)



## ◆ 訃報

名誉教授 越 昭三氏（享年74歳）

名誉教授（元理部学長）越昭三氏は、病気療養中のところ平成15年7月11日（金）午後0時30分、ご逝去されました。  
ここに謹んで哀悼の意を表します。

## ◆ 人事異動

平成15年7月6日付け発令

(辞職)  
生物科学専攻COE研究員

三浦 信明

平成15年7月7日付け発令

(採用)  
生物科学専攻産学官連携研究員

三浦 信明

平成15年7月14日付け発令

(採用)  
生物科学専攻技術補佐員

小川 里恵

平成15年7月17日付け発令

(採用)  
生物科学専攻COE研究員

高 永 貴

生物科学専攻COE研究員

黄 梅

生物科学専攻COE研究員

盛 奎 川

生物科学専攻COE研究員

罗 琼

生物科学専攻COE研究員

姜 舟 婷

生物科学専攻COE研究員

張 国 忠

平成15年7月31日付け発令

(辞職)  
生物科学専攻生体高分子設計学講座助手

大背戸 豊

化学専攻科学研究支援員

千葉 真弘

平成15年8月1日付け発令

(採用)  
生物科学専攻COE研究員

藤谷 直樹

生物科学専攻技術補助員

長崎 まゆ子

平成15年8月11日付け発令

(採用)  
附属地震火山研究観測センター講師(研究機関研究員)

神山 裕幸

平成15年8月31日付け発令

(辞職)  
数学専攻科学研究支援員

田所 智

平成15年9月1日付け発令

(採用)  
数学専攻COE研究員

田所 智

数学専攻COE研究員

青井 久

数学専攻COE研究員	畠山元彦
COE（新・自然史科学創成）事務室COE研究員	Gautam Pitambar
COE（新・自然史科学創成）事務室事務補助員	佐々木宏美
平成15年9月12日付け発令	
（辞職）	
COE研究推進室事務補助員	九嶋充子
平成15年9月16日付け発令	
（昇任）	
生物科学専攻生体高分子設計学講座教授	齋劍萍
生物科学専攻生体高分子設計学講座助教授から	
（採用）	
数学専攻COE研究員	山上敦士
数学専攻COE研究員	瀬戸道生
数学専攻COE研究員	笹原徹
数学専攻COE研究員	小林保幸
数学専攻COE推進室事務補佐員	三澤忍
数学専攻COE推進室事務補佐員	浅海文香
数学専攻COE推進室事務補佐員	喜多三奈子
数学専攻COE推進室事務補佐員	亀田優子
数学専攻COE推進室事務補佐員	金山綾子
平成15年9月30日付け発令	
（辞職）	
生物科学専攻産学官連携研究員	三浦信明
数学専攻COE研究員	青井久
（任期満了）	
生物科学専攻科学研究支援員	Matthias Keller
平成15年10月1日付け発令	
（転入）	
数学専攻数理解析学講座教授	長坂行雄
医療技術短期大学部 教授から	
化学専攻分子構造化学講座教授	村越敬
大阪大学大学院基礎工学研究科助教授から	
（昇任）	
地球惑星科学専攻	
地球惑星進化科学講座助教授	川村信人
地球惑星科学専攻地球惑星進化学講座講師から	
（採用）	
生物科学専攻形態機能学講座助教授	池田亮

科学技術振興事業団研究員から

化学専攻分子変換化学講座助手

並河英紀

神戸大学大学院自然科学研究科博士後期課程から

生物科学専攻計算分子生命科学講座  
寄附講座教員（客員助教授）

三浦信明

大学院理学研究科産学官連携研究員から

生物科学専攻生命分子機能学(塩野義)講座  
寄附講座教員（客員助教授）

福原法夫

塩野義製薬株式会社創薬研究所主幹研究員から

生物科学専攻生命分子機能学(塩野義)講座  
寄附講座教員（客員助教授）

貞許礼子

財団法人バイオインダストリー協会研究員から

生物科学専攻計算分子生命科学講座  
寄附講座教員

長堀紀子

財団法人バイオインダストリー協会研究員から

生物科学専攻生命分子機能学(塩野義)講座  
寄附講座教員

越田周平

塩野義製薬株式会社生産技術研究所研究員から

生物科学専攻産学官連携研究員

古川潤一

生物科学専攻産学官連携研究員

篠原康郎

数学専攻COE研究員

青井久

数学専攻COE研究員

梅田典晃

数学専攻COE研究員

渡邊道之

数学専攻COE研究員

足立二郎

数学専攻COE研究員

Jurgen Saal

数学専攻COE推進室事務補助員

川崎久美子

数学専攻COE推進室事務補助員

伊川美奈子

数学専攻COE推進室事務補助員

荻野敦子

数学専攻COE推進室事務補助員

笹森恵

地球惑星科学専攻COE研究員

鶴田哲也

地球惑星科学専攻COE研究員

玉手剛

地球惑星科学専攻COE研究員

嶋田智恵子

地球惑星科学専攻COE研究員

坂神たかね

地球惑星科学専攻COE研究員

小林孝人

地球惑星科学専攻COE研究員  
地球惑星科学専攻COE研究員  
地球惑星科学専攻COE研究員  
地球惑星科学専攻COE研究員  
地球惑星科学専攻COE研究員  
地球惑星科学専攻COE研究員  
地球惑星科学専攻COE研究員  
地球惑星科学専攻COE研究員  
地球惑星科学専攻COE研究員

(併任)  
理学部教授  
電子科学研究所教授

小 泉 逸 郎  
緒 方 武 幸  
高 嶋 礼 詩  
笹 川 基 樹  
須 股 浩  
川 上 源太郎  
圓 入 敦 仁  
松 元 高 峰  
佐 藤 たまき

辻 井 薫



## ◆ 各種委員会委員

全学関係

学生委員会インターンシップ専門委員会

(15.7.1~17.3.31)

地球惑星科学専攻 教授 藤野清志

情報基盤センター学内共同利用委員会「教育利用専門委員会」

(15.7.1~17.3.31)

地球惑星科学専攻 助教授 川村信人

情報基盤センター全国共同利用委員会「広報専門委員会」

(15.9.1~17.3.31)

地球惑星科学専攻 助教授 見延庄士郎

情報基盤センター全国共同利用委員会「システム専門委員会」

(15.9.1~17.3.31)

物理学専攻 助教授 根本幸児

情報基盤センター全国共同利用委員会「ライブラリ・データベース専門委員会」

(15.9.1~17.3.31)

物理学専攻 助教授 大西明

総合博物館資料部研究員

(15.8.1~16.3.31)

生物科学専攻 助手 柁原宏

脳科学研究教育センター基幹教員

(15.9.17~19.3.31)

数学専攻 教授 津田一郎

低温科学研究所共同利用委員会

(15.10.1~17.9.30)

地球惑星科学専攻 講師 遊馬芳雄

共同利用施設エネルギー分散・波長分散蛍光X線分析研究室責任者

(15.8.16~17.8.15)

地球惑星科学専攻 教授 藤野清志

学部関係

倫理審査委員会

( 15 . 9 . 25 ~ 17 . 3 . 31 )

生物科学専攻 教授 山下 正 兼

” 教授 川 端 和 重

” 教授 幸 田 敏 明

動物実験委員会

( 15 . 9 . 25 ~ 16 . 9 . 24 )

化学専攻 教授 坂 口 和 靖

生物科学専攻 教授 山下 正 兼

” 教授 小 池 達 郎

” 教授 加 藤 敦 之

” 助教授 枥 内 新

” 教授 幸 田 敏 明

## ◆ 行事予定

月	日	曜	事 項
10	1	水	学部専門科目第1学期成績提出締切
	1	水	第2学期授業開始
	2	木	専攻長・学科長会議13:30
	3	金	修士(博士前期)課程及び博士後期課程二次試験実施の有無締切
	9	木	学部学生(2年次以上)履修届受付(~10日)
	9	木	研究科教授会13:30
	15	水	AO入試出願期間(~22日)
	16	木	国立10大学理学部長会議(東京)
	17	金	国立大学理学部長会議(東京)
	28	火	学位申請(11月付託)締切
11	6	木	専攻長・学科長会議13:30
	8	土	AO入試第1次選考結果発表
	13	木	研究科教授会13:30
	14	金	12月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	18	火	学位申請(12月付託)締切
	23	日	AO入試第2次選考
	27	木	専攻長・学科長会議13:30
12	4	木	研究科教授会13:30
	4	木	学部教授会15:30
	6	土	AO入試合格発表
	25	木	理学研究科・理学部冬季休業(~1月5日)
	25	木	学位記授与式

	25	木	全学教育部冬季休業(～1月7日)
1	6	火	学位申請(1月付託)締切
	8	木	全学教育科目授業再開
	8	木	専攻長・学科長会議13:30
	13	火	平成15年度第1学期授業時間割提出締切
	15	木	研究科教授会13:30
	16	金	平成15年度大学院授業科目シラバス原稿提出締切
	16	金	休講日(大学入試センター試験準備)
	17	土	大学入試センター試験(～18日)
	19	月	修士(博士前期)課程及び博士後期課程二次願書受付(～23日)
	20	火	学位申請(2月付託)締切
	28	水	全学教育科目補講日(～30日)
	29	木	専攻長・学科長会議13:30